

世界のサステナブル投資ファンドの資金動向

2024年第2四半期

資金流入の緩やかな回復

モーニングスター・マネジャー・
リサーチ
2024年7月

目次

- 概要
- グローバル
- 日本

水田 理沙
モーニングスター・ジャパン
マネジャー・リサーチ
risa.mizuta@morningstar.com

重要事項

Morningstarのアナリストの行為は、倫理規程/職業行為規範ポリシー、個人の証券等取引（またはこれに準ずる）ポリシーおよび投資調査ポリシーによって規定されています。利益相反に関する詳細については、以下をご覧ください。

<https://www.morningstar.com/company/disclosures>

概要

モーニングスターでは四半期ごとにサステナブル投資を行うファンドの資金動向についてのグローバル・レポートを公表している。本日本語版レポートは2024年の第2四半期のグローバル・レポートの抜粋であり、サステナブル投資ファンドの市場動向の検証と、日本におけるサステナブル投資ファンドの資金動向、運用資産残高、また新規設定についてを取り上げる。

主なポイント

- ▶ 世界のサステナブル投資ファンド全体の資金フローは回復基調にあり、2024年第1四半期の29億ドル（推定値、米ドル、以降特段の記載がない限り同様）の純資金流出に対して、2024年第2四半期では43億ドルの純資金流入を記録した。
- ▶ 欧州のサステナブル投資ファンドは118億ドル以上の純資金流入があり、前四半期の84億ドルから増加した。
- ▶ 米国では、欧州とは対照的にサステナブル投資ファンドからの純資金流出が続いたが、流出のペースは第1四半期と比べ鈍化した。純資金流出額は過去最悪であった第1四半期の90億ドルに対し、第2四半期は47億ドルと約半減した。
- ▶ 日本も米国と同様にのサステナブル投資ファンドからの純資金流出は続いているが、そのペースは鈍化している。純資金流出額は第1四半期の17億ドルに対し、第2四半期は13億ドルとなった。
- ▶ 株価上昇により世界のサステナブル投資ファンドの資産運用残高は増加し、2024年6月末時点で約3兆ドルとなった。
- ▶ サステナブル投資ファンドの新規設定は下降線をたどり、2024年第2四半期の新規設定はわずか77本にとどまった。

世界のサステナブル投資ファンド・ユニバース

世界のサステナブル投資ファンド・ユニバースは、目論見書またはその他規制当局への提出書類により、持続可能性、インパクト、または環境・社会・ガバナンスの要素に焦点を当てると表明しているオープンエンド型ファンドおよび ETF（上場投資信託）を含んでいる。

本レポートでは、世界のユニバースを欧州、米国、その他の地域の国籍ごとのセグメントに分けている。カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、日本についてはより詳細なデータを掲載している。中国、香港、インド、インドネシア、マレーシア、シンガポール、台湾、タイ、韓国は資産規模が比較的小さいため、「アジア（除く日本）」として分類している。日本語版のレポートでは日本以外の詳細なデータは掲載していないため、各地域の詳細データについては、原文の英語版レポートを参照されたい。

ここからは、世界のサステナブル投資ファンドにおける直近の資金動向を検証し、2024 年第 2 四半期の地域別の資金フロー、運用資産残高、新規設定について詳述する。以下の図表 1 は概要となる。

図表 1 世界のサステナブル投資ファンドの概要

| 地域 | フロー | フロー | 残高 | | ファンド数 | |
|------------------|---------|---------|--------------|------|-------|------|
| | Q1 2024 | Q2 2024 | USD (10億米ドル) | % 割合 | 本数 | % 割合 |
| 欧州 | 8.4 | 11.8 | 2,605 | 84 | 5,609 | 73 |
| 米国 | -9.0 | -4.7 | 336 | 11 | 613 | 8 |
| アジア（除く日本） | -0.7 | 0.7 | 62 | 2 | 612 | 8 |
| カナダ | 0.1 | -1.4 | 36 | 1 | 323 | 4 |
| オーストラリア・ニュージーランド | 0.0 | -0.8 | 30 | 1 | 271 | 4 |
| 日本 | -1.7 | -1.3 | 23 | 1 | 231 | 3 |
| 全体 | -2.9 | 4.3 | 3,091 | | 7,659 | |

出所: Morningstar Direct、2024 年 6 月末時点

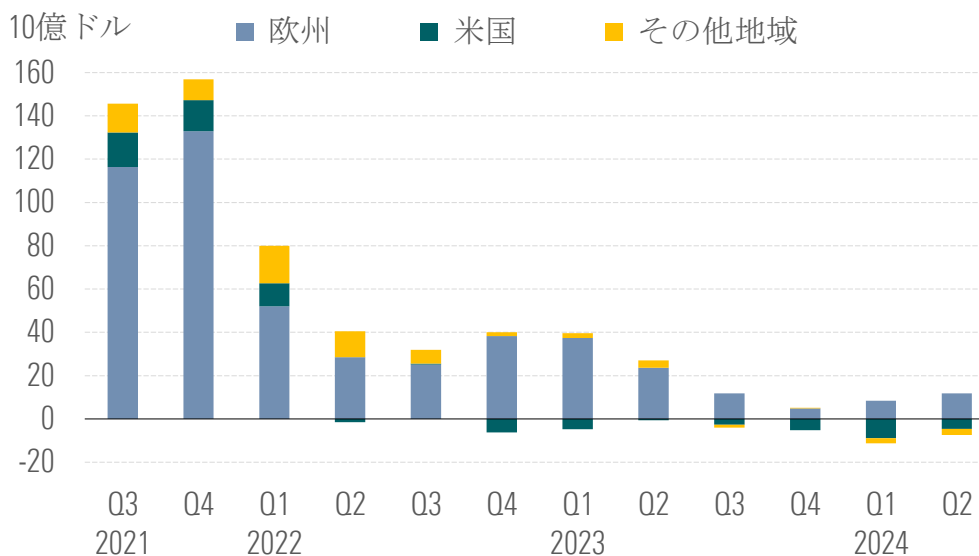
世界のサステナブル投資ファンドの資金フローは緩やかな回復

2024 年第 2 四半期では、世界のサステナブル投資ファンドへ純資金流入となった。第 1 四半期の 29 億ドルの純資金流出に対し、第 2 四半期は 43 億ドルの純資金流入となった。

サステナビリティの先進地域であり、サステナブル投資ファンドにとって世界最大の市場である欧州では、第 2 四半期の純資金流入額は 118 億ドルとなり、第 1 四半期の 84 億ドルに対し増加となった。

一方、米国では、過去最悪となった第 1 四半期の 90 億ドルの純資金流出額からは大きく改善したものの、依然として 47 億ドルの純資金流出額を記録した。

図表 2 世界のサステナブル投資ファンドの四半期資金純流出入



出所: Morningstar Direct、2024 年 6 月末時点

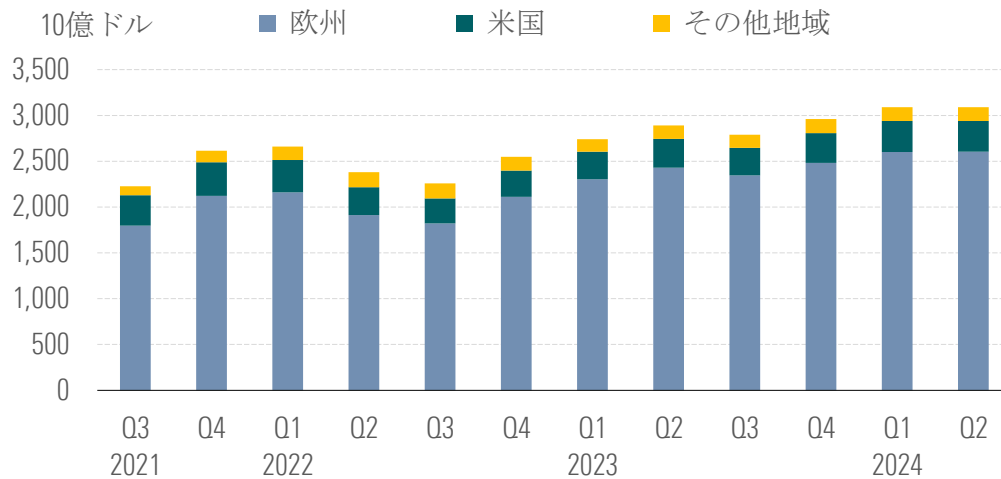
アジア太平洋地域のサステナブル投資ファンド・ユニバースでは、第 2 四半期はまちまちの結果となった。アジア（除く日本、中国）では 25 億ドルの純資金流入、台湾には 27 億ドルの純資金流入となった。一方日本では、第 1 四半期の 17 億ドルの純資金流出から、第 2 四半期は 13 億ドルと流出のペースは鈍化したものの、依然として流出は続いている。オーストラリアとニュージーランドのサステナブル投資ファンドは約 8 億ドルの純資金流出となった。

世界の運用資産残高は 3 兆ドル超と安定的な推移

世界のサステナブル投資ファンドの 2024 年第 2 四半期末の運用資産残高は、第 1 四半期末と同水準の約 3 兆ドルとなった。Morningstar グローバル株式指数は 2.6%の上昇であった一方、Morningstar グローバルコア債券指数に代表される債券市場は 1.2%の下落と低迷した。

欧州が世界のサステナブル投資ファンドの残高の 84%を占め、次いで米国が 3,360 億ドルと第 2 位の地位を維持し、第 1 四半期末と同様に世界のサステナブル投資ファンド運用資産残高の 11%を占めている。

図表 3 世界のサステナブル投資ファンドの運用資産残高四半期推移

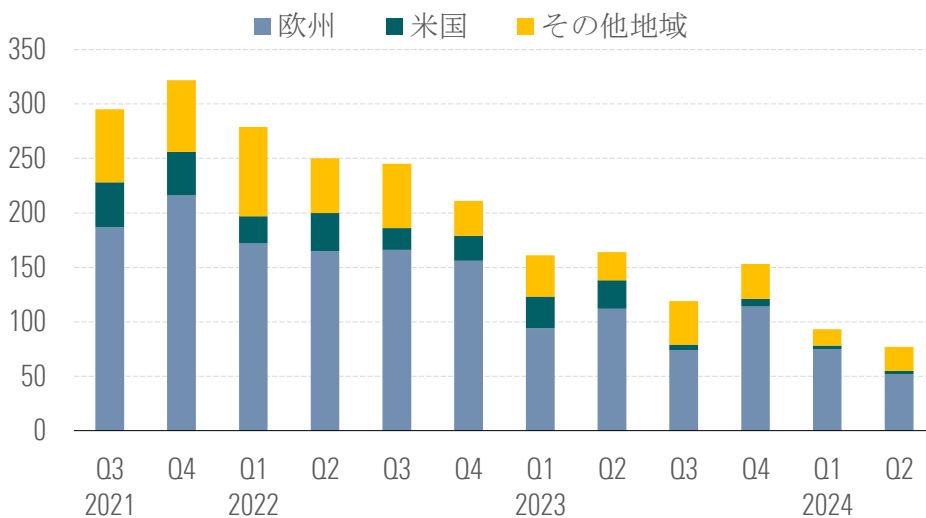


出所: Morningstar Direct、2024 年 6 月末時点

世界のサステナブル投資ファンドの新規設定

2024 年第 2 四半期も世界のサステナブル投資ファンドの新規設定は減少を続け、世界で新規設定数は 77 件弱と前例のない低水準となった。なお、今後のレポート執筆時点で、事後的により多くの新規設定ファンドがモーニングスターに追加報告されることがあり、77 件という数値が上方修正される可能性が高いことをご留意されたい。欧州の第 2 四半期のサステナブル投資ファンドの新規設定数は一年前に比べ約半減しており、世界ベースでの減少も、欧州における新規設定数の大幅減少を反映したものとなっている。

図表 4 世界のサステナブル投資ファンドの新規設定数の四半期推移



出所: Morningstar Direct、2024 年 6 月末時点

年初来の6ヶ月間に、世界全体で約170件のサステナブル投資ファンドが新たに設定された。前年同期に325件の設定があったことを考えるとこれは対照的な数字である。過去3年間においては多くの資産運用会社が市場の需要の高まりに対応するため、サステナブル投資ファンドのラインアップの中核商品を作るべく開発を急いでいたこともあるため、この冷え込みは、サステナブルファンドの商品開発活動の正常化を反映しているともいえる。

ブラックロックがパッシブ・ファンドで首位に

以下では、サステナブル投資ファンドを世界的に展開している資産運用会社の上位会社の一覧を紹介する。世界最大の運用会社であるブラックロックは、2024年第2四半期末時点で、ESGに特化したオープンエンド型ファンドおよびETFの運用資産残高が3,747億ドルと、サステナブル投資の分野で圧倒的なリーダーとなっている。欧州最大の運用会社であるAmundiは前期と同水準で、運用資産残高が1,770億ドルに達した。

図表5 サステナブル投資ファンドの運用資産残高の上位運用会社

| 総合 | | アクティブ運用 | | パッシブ運用 | |
|---------------------------|------------------|---------------------------|------------------|------------------------------------|------------------|
| 運用会社名 | 資産残高 (10億米ドル) | 運用会社名 | 資産残高 (10億米ドル) | 運用会社名 | 資産残高 (10億米ドル) |
| BlackRock (incl. iShares) | 374.7 | Amundi (incl. Lyxor) | 82.2 | BlackRock (incl. iShares) | |
| UBS (incl. Credit Suisse) | 177.3 | Natixis | 74.7 | UBS (incl. Credit Suisse) | |
| Amundi (incl. Lyxor) | 174.2 | BlackRock (incl. iShares) | 73.0 | Amundi (incl. Lyxor) | |
| DWS (incl. Xtrackers) | 101.4 | UBS (incl. Credit Suisse) | 73.3 | Northern Trust | |
| Swisscanto | 91.8 | Nordea | 71.5 | Vanguard | |
| BNP Paribas | 81.7 | KBC | 58.4 | DWS (incl. Xtrackers) | |
| Natixis | 77.3 | DWS (incl. Xtrackers) | 57.8 | Swisscanto | |
| Nordea | 71.5 | Swisscanto | 53.2 | Handelsbanken | |
| KBC | 58.5 | BNP Paribas | 50.9 | BNP Paribas | |
| Northern Trust | 57.1 | Allianz Global Investors | 48.1 | State Street | |
| Vanguard | 54.7 | Pictet | 47.2 | Länsförsäkringar | |
| Royal London | 51.2 | Royal London | 44.2 | Legal & General | |
| Pictet | 48.6 | Parnassus | 39.1 | Invesco | |
| Allianz Global Investors | 48.1 | Union Investment | 33.9 | Eaton Vance | |
| Handelsbanken | 40.4 | Goldman Sachs | 31.5 | Cathay Securities Investment Trust | |
| Parnassus | 39.1 | AXA IM | 31.0 | HSBC | |
| Eaton Vance | 35.4 | JPMorgan | 30.6 | Storebrand Fonder | |
| JPMorgan | 34.0 | Vontobel | 27.7 | Scottish Widows | |
| Union Investment | 33.9 | Robeco | 27.2 | Royal London | |
| Goldman Sachs | 31.6 | Schroders | 27.1 | Mercer Global Investments | |

出所: Morningstar Direct、2024年6月末時点

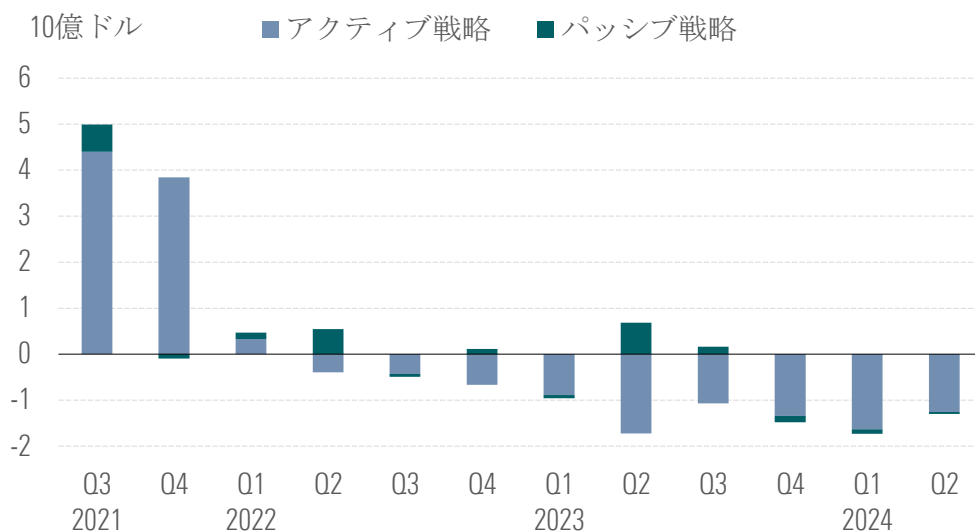
日本

資金フロー

2024 年第 2 四半期は、日本のサステナブル投資ファンド（公募追加型株式投資信託と ETF）は 8 四半期連続での純資金流出となり、純資金流出額は 13 億ドル（2,053 億円）となった。これは、2024 年第 2 四半期に 268 億ドル（4.26 兆円）の純資金流入を記録した日本のファンド市場全体とは対照的な結果となった。

アクティブ運用を行うサステナブル投資ファンドは、第 2 四半期の純資金流出額の 97%以上を占め、8 四半期連続の資金流出となった。AMOne グローバル ESG ハイコオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジ無し）からは第 2 四半期に 2 億 3,800 万ドル（378 億円）の資金が流出し、第 1 四半期と同様に純資金流出額の最大のファンドとなった。一方、同運用会社が第 2 四半期に新規設定した AMOne みずほサステナブルファンドシリーズLO・サーキュラー・エコノミーは、第 2 四半期に最も資金を集めたサステナブル投資ファンドとなった。同ファンドは、二位の野村世界 ESG 株式インデックスファンド（確定拠出年金向け）（純資金流入額 1,400 万米ドル（23 億円））を大きく引き離し、1 億 5,300 万ドル（240 億円）の純資金流入となった。

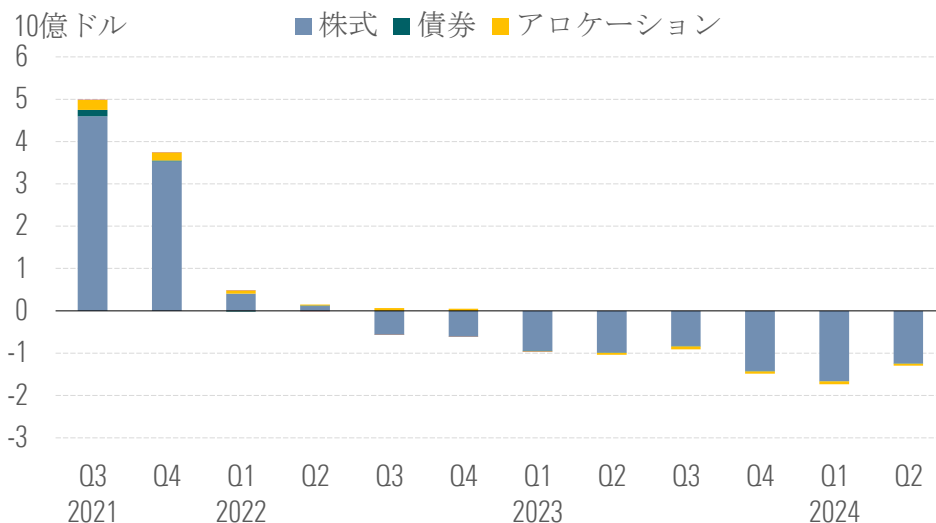
図表 6 日本のサステナブル投資ファンドの純資金流入



出所: Morningstar Direct、2024 年 6 月末時点

日本のサステナブル投資を行う株式ファンドは 2024 年第 2 四半期に 12 億ドル（1,967 億円）の純資金流出となり、これは第 2 四半期の純資金流出の 96%に相当する。純資金流出が最も大きかった 20 本のファンドのうち、19 本が株式ファンドであった。

図表 7 日本におけるサステナブル投資ファンドの資産クラス別純資金流入

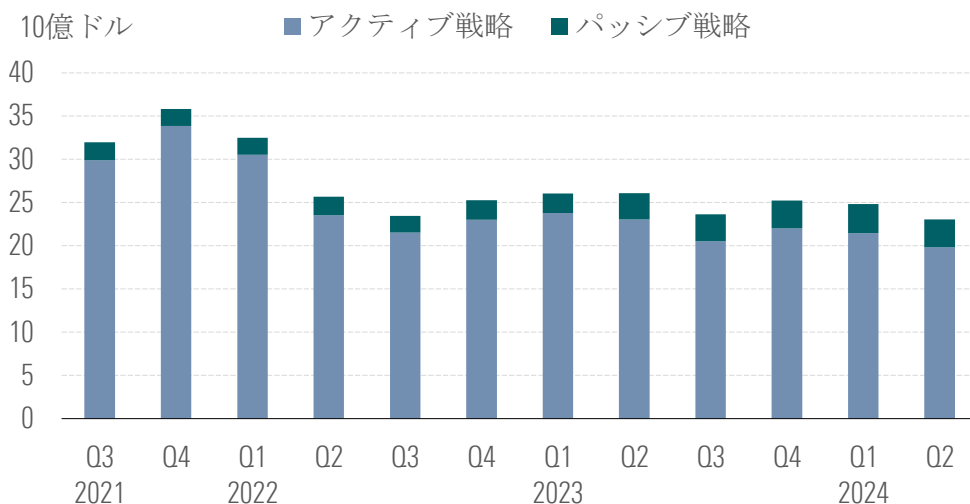


出所: Morningstar Direct、2024年6月末時点

資産残高

日本籍のサステナブル投資ファンドの第2四半期末の総資産残高は230億ドル（3.7兆円）と、第1四半期末の248億ドル（3.76兆円）に対し7.7%減と、僅かながら残高は減少した。アクティブ運用ファンドが依然として大部分を占めており、サステナブル投資ファンドの運用資産残高全体の86%を占め、また株式ファンドが同ユニバースの大部分（96%）を占めている。

図表 8 日本におけるサステナブル投資ファンドの運用資産残高

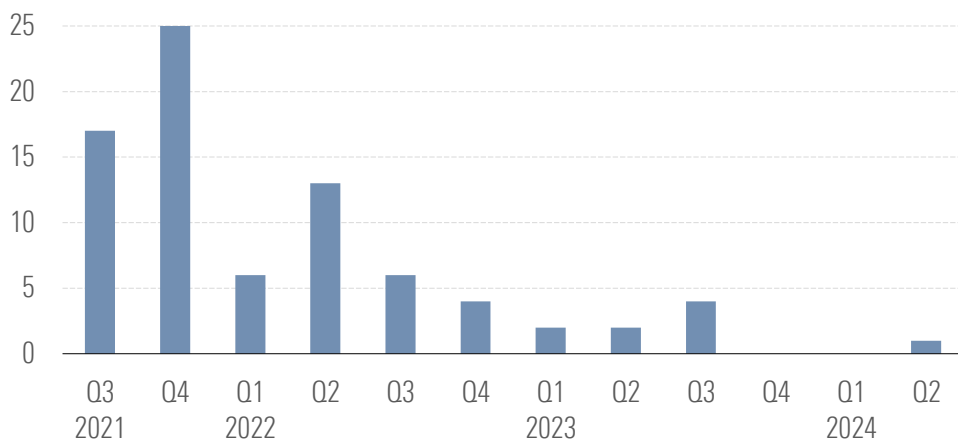


出所: Morningstar Direct、2024年6月末時点

新規設定

2023年に金融庁がグリーン・ウォッシュ防止のための包括的な監督指針を改定して以来、より多くの資産運用会社が ESG ファンドの新規設定に対し慎重な姿勢を示していることが見受けられる。第 1 四半期では日本市場において新たなサステナブル投資ファンドの新規設定はなかったが 2024 年第 2 四半期には、一件の新規設定があった。前述の **AMOne** みずほサステナブルファンドシリーズ-LO・サーキュラー・エコノミーは 4 月に設定され、1 億 5,300 万ドル（240 億円）の資金流入があった。

図表 9 日本におけるサステナブル投資ファンドの新規設定本数



出所: Morningstar Direct、2024 年 6 月末時点

規制動向

昨年 12 月に導入した「資産運用立国実現プラン」の一環として金融庁は 2024 年 6 月に「金融・資産運用特区実現パッケージ」を公表した。金融庁は今回の発表で札幌、東京、大阪、福岡を特区として設定し、それぞれの特色を生かしながら、金融・資産運用業等にとって魅力的な環境を整備していく方針を設けた。この取り組みは国内における資産運用の一般的な推進を目的としているが、サステナブルファイナンスの促進も意図している。特区の中の一つである札幌は、北海道の日本随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを生かし、GX（グリーン・トランスフォーメーション）に関する資金・人材・情報が集積する金融センターを実現していく。東京都では、サステナブルな社会を実現するアジアのイノベーション・金融ハブとなることを目指し、日本初の官民連携の金融プロモーション組織である東京国際金融機構（FinCity.Tokyo）や金融・スタートアップに関連する官民の多様なプレイヤーなどとも連携していく。

Morningstar Manager Research Services ディスクロージャー (日本)

モーニングスター・マネジャー・リサーチについて

モーニングスター・マネジャー・リサーチは、運用商品の戦略に対し、独立の立場からのファンダメンタル分析を提供しています。運用担当者 (People)、運用プロセス (Process)、運用会社 (Parent) の 3 つの主要な評価軸についてのアナリストのリサーチに基づく見解は、モーニングスター・メダリスト・レーティングとして公表されます。世界中のリサーチチームが、投資商品、資産クラス、および各地域にまたがる戦略について、詳細なアナリスト・レポートを発行しています。メダリスト・レーティングは、意見であり、事実の表明するものではなく、将来のパフォーマンスを示唆または保証するものでもありません。

モーニングスター・マネジャーリサーチ・サービスについて

モーニングスター・マネジャーリサーチ・サービスは、モーニングスターのファンドリサーチ・レポート、レーティング、ソフトウェア、ツール、およびモーニングスター独自のデータの提供と、モーニングスターのマネジャーリサーチ・アナリストへのアクセスを同時に実現させています。銀行、ウェルスマネジャー、保険会社、政府系ファンド、年金基金、エンダウメント (寄贈基金)、財団などの機関投資家が、内部で行うデューデリジェンスを補完する機能を提供しています。モーニングスターのマネジャー・リサーチ・アナリストは、Morningstar, Inc. のさまざまな完全子会社 (Morningstar Research Services LLC (USA)、Morningstar UK Ltd、および Morningstar Australasia Pty Ltd が含まれますが、これらに限定されません) に所属しています。

お問い合わせ先

Morningstar Manager Research Services

ManagerResearchServices@Morningstar.com



モーニングスター・ジャパン株式会社

東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング 6 階

©2024 Morningstar. All Rights Reserved. 別段の合意がない限り、本資料は配信者の所在する国においてのみ使用することができます。本資料に記載されている情報、データ、分析、意見は、投資助言ではなく情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。また、情報の正確性や完全性を保証するものでもありません。本資料の内容は、記載された日付時点のものであり、予告なく変更されることがあります。モーニングスターは、法律により定められている場合を除き、本資料の情報、データ、分析、意見を利用して行いたいかなる投資の判断、損失、損害に責任を負いません。本資料にはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。リサーチに関するライセンス利用のお問い合わせは+1 312 696-6869までご連絡ください。